

No 111

2025.8
＜令和7年＞

富良野市議会だより

フラノギカイ



主な内容

- ・ 6月定例会で行われた主な質疑 P2
- ・ 議決結果 P3
- ・ 一般質問 P4～P8
- ・ 可決された意見書 P9
- ・ 特集 P10
- ・ インフォメーション P11
- ・ 議会の中からこんにちは・編集後記 P12

ぶどうヶ丘公園周辺



6月
定例会

教育委員会委員の任命同意、人権擁護委員候補者の推薦、教育用コンピューター整備事業契約の締結ほか、令和7年度一般会計補正予算を原案のとおり可決。

令和7年第2回定例会が、6月10日から20日までの11日間で開かれ、各議案の審議が行われました。

令和7年度一般会計補正予算
5877万6千円を増額

労働諸費一般事務費（施設修繕料）

97万5千円

事業内容

市内企業の労働力確保対策のために貸付をしている住宅の修繕を行うための事業費です。

問 修繕の内容と労働諸費一般事務費での計上理由を問う。

答 積雪によるすが漏りが発生した屋根の修繕を行う。人材確保対策の一環とした住宅活用のため労働諸費での計上とした。

公園管理費（公園施設改修工事費）

952万6千円

事業内容

山部さくら公園の老朽化した遊具の改修工事費です。

問 遊具の選定及び設置に当たり地域ニーズをどのように把握し、反映しているか問う。

答 遊具の設置に当たり太陽の里を中心として考えていたが、子供たちが実際に遊ぶ場所である町の中の公園で協議をし、既存遊具の劣化具合、現地の状況、設置する遊具の形状など関係者と立ち合い選定を行った。

教育用コンピューター整備事業（器具購入）契約の締結について
原案のとおり可決

事業内容

児童生徒の効果的な学びの実施と教職員の業務改善に向け、市内小中学校へ配備している耐用年数を迎える学習端末を更新するものです。

問 随意契約に至った経緯、2年計画のうち令和7年度に契約を締結する理由、iPad端末の年式、大量発注による納品に遅れは生じないか問う。また、メンテナンスについて問う。

答 随意契約については、北海道公立学校情報機器整備事業費補助金を活用するため、北海道公立学校情報機器整備共同調達会議での一般競争入札落札者を行うこととなる。令和7年度に締結するのは、導入して5年が経過し、処理能力やデータ保存容量を確保し、学習環境を維持するために早期の整備を図るため、整備する機器は3月に発売された第11世代のiPad、納品については、保証期間も考慮し、12月から1月に納品することで確認している。メンテナンスは、別契約となる。

【追加議案】

令和7年度一般会計補正予算
1375万5千円を増額

看護専門学校学校運営経費

1375万5千円

事業内容

看護専門学校において、厚生労働省医療施設運営費等補助金採択に伴うICT機器等を活用した効果的効率的な教育活動推進に要するICT支援業務委託料、器具購入費です。

問 厚生労働省の看護現場におけるDX効果検証事業に選定されたということ、どのような目的を持って手挙げをされているのか、内容の詳細、期待される学習効果について問う。

答 学生においては、患者の対象理解、適切な看護判断、ケア技術の向上、主体的な学習態度などを実践的に学び、より質の高い看護師の養成が可能になると考える。また、教職員については、業務の効率化が図られるとともに、実践していく過程でICT活用への意欲が高められ、今後もDX推進に向けて発展的に取り組んでいくことができるようになることを考える。

令和7年 第2回 富良野市議会定例会議決結果表

令和7年6月10日～6月20日（11日間）

議案番号	事 件 名	議決月日	議決結果
議案第 1 号	令和7年度富良野市一般会計補正予算（第3号）	6月20日	原案可決
議案第 2 号	富良野市税条例の一部改正について	6月20日	原案可決
議案第 3 号	富良野市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正について	6月20日	原案可決
議案第 4 号	富良野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部改正について	6月20日	原案可決
議案第 5 号	教育用コンピューター整備事業（器具購入）契約の締結について	6月20日	原案可決
議案第 6 号	富良野市教育委員会委員の任命について	6月10日	任命同意
議案第 7 号	令和7年度富良野市一般会計補正予算（第4号）	6月20日	原案可決
諮問第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦について	6月10日	適任
諮問第 2 号	人権擁護委員候補者の推薦について	6月10日	適任
諮問第 3 号	人権擁護委員候補者の推薦について	6月10日	適任
報告第 1 号	富良野市一般会計繰越明許費繰越計算書について	6月10日	報告済
報告第 2 号	富良野市一般会計事故繰越し繰越計算書について	6月10日	報告済
意見案第 1 号	えん罪被害者を速やかに救済するために再審法改正を求める意見書	6月20日	原案可決
意見案第 2 号	地方財政の充実・強化を求める意見書	6月20日	原案可決
意見案第 3 号	地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書	6月20日	原案可決
意見案第 4 号	ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書	6月20日	原案可決
その他会議に付した事件	監査委員報告		
	・例月出納検査結果報告（令和6年度1月分～4月分、令和7年度4月分）	6月10日	報告済5件
	閉会中の所管事務調査について（総務文教、市民福祉、経済建設、議会運営委員会）	6月20日	許可4件

閉会中審査及び事務調査申出について

〔事務調査申出〕

●各委員会では議長の許可を受け、閉会中、次のとおり事務調査を行います。

委員会名	調査番号	調査件名
総務文教委員会	調査第1号	D X の推進について
市民福祉委員会	調査第2号	ふれあいセンターの利用の検証と今後の在り方について
経済建設委員会	調査第3号	道路の維持管理について
議会運営委員会	議運調査第2号	議会改革について

※ 議運調査第2号は、委員任期中の継続調査となります。

ここが聞きたい！ 一般質問

令和7年第2回定例会において9人の議員が一般質問を行いました。
文責は、質問者にあるものとして、質問・答弁の要旨を掲載しております。

質問者が収録されている動画のタイトル、動画上で質問が開始される時間は下記のとおりです。

・富良野市議会 議会中継（令和7年6月17日）

松下 寿美枝	議員	01分 00秒	ごろ
二宮 利和	議員	57分 40秒	ごろ
天日 公子	議員	1時間 54分 20秒	ごろ
関野 常勝	議員	2時間 30分 30秒	ごろ
大栗 民江	議員	2時間 54分 30秒	ごろ

・富良野市議会 議会中継（令和7年6月18日）

今 利一	議員	00分 45秒	ごろ
佐藤 秀靖	議員	44分 40秒	ごろ
大西 三奈子	議員	1時間 47分 55秒	ごろ
宮田 均	議員	2時間 48分 55秒	ごろ



富良野市議会のYouTubeチャンネルでは、議案質疑や一般質問など、本会議のすべてを視聴できます。
左のQRコードを読み込むとサイトに接続できます。

さらなる共創のまちづくりの推進を

共創のまちづくりについて

問 「共創のまちづくり」をどのように位置づけ、推進していくものとしているのか伺う。

答 本市では、第6次富良野市総合計画において「共創」を「まちづくりの基本アプローチ」の一つとして位置付けている。人口減少など複雑かつ多様な課題に対し、市民、行政、企業、団体など多様な主体が連携し、共に考え、共に行動し、新たな価値を創出していく考え方に基づくものである。共通の目的の基に対話を重ね、地域の課題を共に解決していく取組でもあり、前例にとらわれず、対話を重ねながら、柔軟で挑戦意欲を持った姿勢で取り組むことが大切であると認識している。

また、市民や地域の皆さまにも、「自分たちの地域は自分たちで良くする」という意識のもと、世代や立場を超えて参加していただき、対話と実践を通じた共創のまちづくりを進めていきたいと考えている。

共創のまちづくりについて

問 社会教育係を「学びのまち推進課」という新たな名前にし、中

松下 寿美枝
〔市民連合議員会〕



央公民館に職員を配置した。その経過と目的を伺う。

答 中央公民館は、令和5年1月より社会教育施設として図書館と併設し、兼任職員を配置、社会教育係と連携して公民館活動を推進してきた。教育ニーズの多様化・複雑化に対応するため、本年4月に組織体制の改変を行い、従来の教育振興課から社会教育分野を分離し、世代を超えた多様な市民が主体的に学び続け、つながりを深め地域づくりに参画できるよう取組を進めることを目的に「学びのまち推進課」を設置した。



富良野市第6次総合計画より「共創」のためのキーワード

小中学校に導入予定の次世代エネルギー設備の安全性は

二宮 利和
〔無会派〕

富良野市小中学校空調設備及び次世代エネルギー設備導入事業について

問

市内四校に設置し、6月1日より運用している空調設備を安定的、継続的に使い続けるため、次世代エネルギー設備とセットでのリースではなく、空調設備単独でのリースや直接購入して運用するなどの検討ができないか伺う。

答

令和7年6月1日からの18年間のリースで、設備についてはフルメンテナンスタップ仕様であるため、安定的、継続的に使用できるものであり、空調設備単独でのリースや、購入は考えていない。

問

このリース契約が解除になった場合、エアコンの扱いはどうなるのか伺う。

答

双方で協議しなければならぬ。

問

相手企業から当初計画していた次世代エネルギー設備（発電施設）では、必要で安定した電気の供給ができないという申し出があり、その後別の水素発生発電システムを提案され採用されている。これを契約不履行とせず、契約が継続されているとした経緯は。

答

児童生徒の安全安心な環境整備と、脱炭素社会に向けた取組が目的であり、変更がないものと考え。設置場所などの変更は、今後協議していくものである。



空調設備（エアコン）が設置された小学校

と、安全性について伺う。

答 鉄と水性反応液（酸性）を反応させ、水素を発生させて発電に使うものである。反応による熱は発生しないので安全である。

問 原料の鉄の生産段階で発生する二酸化炭素は考慮しているのか。

答 水素を生成させる過程では二酸化炭素は発生しない。鉄の調達については今後考える。

通学時ヘルメット着用など交通安全対策を

天日 公子
〔富良野クラブ〕

通学時のヘルメット着用について

問

令和5年4月1日より、自転車乗車時全員のヘルメット着用が努力義務となった。本市の令和6年事故統計では、自転車事故が急増しており、小学生2名、中学生2名で、ヘルメットは全員非着用となっている。せめて中学生の自転車通学時にヘルメット着用が必要と考えるが、現状と今後の方針を伺う。

答

本市の中学校におけるヘルメット着用率は低調であると認識している。これまでも着用を推奨してきたが、交通安全教育の観点からも、改めて各学校に対し自転車通学許可の条件等にヘルメット着用の義務付け、又は自転車通学届出等にヘルメットの着用に関する項目を加えるなど、着用率向上の取組の実施を呼びかけていく。

問

ヘルメット購入補助制度は。

答

他市の状況等調査研究する。

問

電動キックボードの安全対策について

問

最近、電動キックボード利用者のマナー違反の報道があり、危険な乗り物と思うことが多い。電動キックボードは企業の進出から

はじまるが、環境整備ができてからの時期を見た導入を。

答

電動キックボードのサービスが開始される場合の対応として事業者に対し、地域の交通環境や安全性への理解を深めて頂けるよう、その対策について検討する。利用者に対しては、交通ルールを遵守し、危険行為のない安全な利用等について啓発活動を行い、市民等と連携し交通安全対策に努める。

〈その他の質問〉

・高等学校バス通学費補助金について



交通安全運動

安全な上下水道の安定供給に向けて

関野 常勝
〔富良野クラブ〕

上下水道管の老朽化について

問 上下水道管の耐用年数を超えた水道管路の割合と更新率について伺う。

答 耐用年数を超えた管路の割合は、令和6年度末、上水道は、約33・8kmと全体の22%。更新率は、0・4%、下水道は、耐用年数を超えた管路はない。

今後の老朽管の更新計画は

答 重要な施設に接続する管路や漏水や不明水の侵入が多い管路等、優先度の高いものから順次更新していく。

漏水の件数、上下水道管路の調査内容と方法について伺う。

答 漏水件数は、ここ数年大きな変動はなく、水道管の老朽化に伴い漏水が増えていく傾向にある。上下水道管の調査では、水道管は路面音聴調査により漏水箇所を調査し、下水道管では、管内を見るカメラなど機材を活用している。

上下水道施設及び上下水道管路の耐震化について

問 本市の耐震化状況と重要施設の箇所数と施設名について伺う。

答 本市の重要施設は、病院など3箇所と複合庁舎や避難所となる



耐震化が求められる施設のひとつ
富良野市上水道水源送水場



学校等の施設18箇所であり、接続する水道管延長は、約15kmで耐震化率43%、下水道管は、約12kmで耐震化率0%である。

本市における「上下水道耐震化計画」の内容について伺う。

答 今後概ね50年で耐震化を完了することを目指し、令和7年度から5年間で重要施設に接続する上下水道管路の耐震化を進めていく。また、耐震化には膨大な事業費が必要となることから、国の補助制度メニューを見極め、前向きに取り組んでいく。

結婚新生活支援事業の取組を

大栗 民江
〔無会派〕

若者世代を応援する取組について

問 新生活を始める時に係る費用等を支援する結婚新生活支援事業は、最低で30万円、最大60万円が支給される制度だが、要件緩和や支給金額を上乗せしている市町村も多い。富良野市令和5年統計では、婚姻は一箇月当たり4・8組で令和元年8・3組からみると約42%の減、出生は一日当たり0・4人に減少、逆に死亡は一日当たり1・2人と増加している。新婚生活を始める方が、貸与型奨学金を返済している場合は、所得金額から奨学金の年間返済額を控除する制度でもあり、若者世代を応援するためにも市として導入すべきだが取組の考えを伺う。

答 結婚新生活支援事業は、結婚して新生活をスタートする世帯を対象に、新居の購入費や家賃、新居のリフォーム経費など住居にかかる費用を支援するものである。賃貸住宅から新婚生活をスタートする若者世代に向けた支援の実施については、他の自治体での結婚新生活支援事業の実施状況や現在展開している各事業の実績を踏まえ、効果的な支援策について引き続き研究していく。

結婚・妊娠・出産・子育てに優しい社会づくりについて

問 こども家庭庁による、性・妊娠の正しい知識を若い世代に普及するプレコンセプションケアの理念を踏まえた取組や保護者等に理解を深めていただく普及啓発は。

答 まずは、こども家庭庁等の資料を基に、プレコンセプションケアに関する様々な情報を把握するとともに、学校の教育活動や家庭教育などにおいて理解を深めていきたい。普及啓発は、国・道・道教委の動向などを注視しながら検討していきたい。



富良野市独自の婚姻届け

次世代エネルギー設備 導入について問う

今 利一
〔市民連合議員会〕

富良野市小中学校空調設備及び次世代エネルギー設備導入事業について

問 相手先企業から「計画している設備では安定的な電気が供給できない」との申し出があった経緯や内容について伺う。

答 令和7年2月25日に事業者より「空調設備について、令和7年6月1日に稼働することに変更はないが、本市に導入するものと同様の設備を試運転した結果、学校で必要となる電力量を持続的に補うだけの発電には至らず、設置が間に合わない」と説明があった。

事業者に対し具体的な対応策を求めるとともに市内部でもその対応について検討を進め、4月9日に提案、設置までの期限などが示された。

問 相手企業から最長1年半分の学校四校分の電気代、数千万円を負担してもらう事の経過と根拠について伺う。

答 期限までに設置できない状況となったことを踏まえ本事業の主目的である空調設備の稼働のため、企業側の責任として、令和7年6月1日よりCO₂削減効果のある電力を提供したいとの事業者側か

らの申し出によるものである。

問 令和7年2月25日には相手企業から安定的な電気を供給できないと申し出を受けているにも関わらず、5月19日まで公表しなかった経緯と理由について伺う。

答 空調設備を6月1日からの稼働させる方針に変更はなく、夏場の稼働を確実に実現させるため、空調設備設置及び電力確保を最優先として進めてきたが、事業継続に向けた内部検討と事業者との協議に時間を要したことから、一定の方向性が見通せた段階で公表すべきと考えた結果である。



空調設備が設置された西中学校

小中学校への次世代エネルギー設備導入の進捗は

佐藤 秀靖
〔ふらの未来の会〕

富良野市小中学校空調設備及び次世代エネルギー設備導入事業について

問 市内四校（扇山小・東小・西中・東中）に空調設備（エアコン）が設置されたが、同時に設置予定の水素を用いた次世代エネルギー発電設備は設置に至っていない。

事業者から提案された発電技術に基づいて契約した事業であるから、事業者からの「安定的発電供給が困難」という申し出は契約違反ではないか。

答 小中学校に空調設備（エアコン）を今夏に間に合うように令和7年6月1日に稼働させることと、そのための電力が供給されると認識しており、契約違反には当たらないものと認識している。

また、代替案として申し出があった次世代エネルギー設備の設置については確認・検討の必要性があることから、双方協議を行った結果、令和7年5月23日に契約条項に基づき覚書を交わしている。

問 当初に事業者から提案された発電技術は事実上破綻したと認識しているが、事業者からの代替案として提案された「新しい技術」の実装例はあるのか。また技術的

安全の担保及び安定的運用の担保はできるのか。

答 提案された技術は、現在開催中の大阪・関西万博で、事業者のグループ会社が常設展示している「無電解グリーン水素生成発電技術」を用いた発電システムとした。新しい技術については技術的には確立しており、安全面での懸念はないが、初の実装事例となることから、安定した電力が供給されるための試験的な運転期間を確保するため、来年12月31日までに設置という覚書により時間的猶予を設定した。



空調設備が導入された東小学校

市民の命を守る交通安全 全対策の強化を求める

大西 二奈子
〔ふらの未来の会〕



交通安全対策の強化について

問 本市にインバウンド客が増加するに伴い、交差点内での交通事故や一時不停止、坂道でのスリップ事故による立ち往生、スキー等を装着したまま道路を滑走するなど交通マナーを含めて、観光地としてのさらなる対策強化が必要と考える。第12次交通安全計画策定に反映する考えを伺う。

答 スキー等を装着したまま公道を滑走する危険行為が一部で見受けられ、滑走禁止の看板やチラシの配布により禁止啓発に努めている。また多言語による交通安全啓発チラシを作成し、市内ホテルや飲食店、空港付近のレンタカー事業所等にも配布し、交通ルールと交通安全の周知を図っている。

今後、策定予定の「第12次交通安全計画」では、これらの取組を継続しつつ観光・インバウンド対策を重点課題と位置づけ、観光地としての特性を踏まえた交通安全対策の再構築に向け、関係機関・団体と連携して実効性のある対策を進めていく。

問 子どもの未来を守る会から交通安全協議会に寄付があり、小学生を対象に自転車ヘルメット



外国人向け交通標識の工夫

購入費用の補助が行われている。ヘルメット着用率向上に向けて、自治体として補助する考えを伺う。

答 自転車事故死の6割が頭部損傷のため、ヘルメット着用による安全性向上などについて啓発を行い、着用促進に努めるとともに、今後も交通安全協議会と連携しながら助成制度の在り方や、より効果的な施策について協議していく。

〈その他の質問〉
・（仮称）富良野市子ども計画における全天候型遊戯施設などの居場所づくりについて

市水道の水質状況は

宮田 均
〔無会派〕



水道の水質検査について

問 山部、富良野地区水道水質検査で、有機フッ素化合物が1リットル当たり、27、28ng（ナノグラム）検出されたと聞く。国の暫定目標値1リットル当たり50ng以下であるが、ドイツは20ng、アメリカは4ngであり、健康面への影響など今後の対応を伺う。

答 令和5、6年度の検査において、中五区水源送水場、下五区水源送水場、布部浄水場、山部浄水場で、国が定める暫定目標値以下の有機フッ素化合物が検出された。環境省は、暫定目標値以下の健康リスクについては限定的であり「直ちに健康被害が生じるリスクは低い」としているが、今後もモニタリングを実施し、安全で安心な水道水の供給に努める。

ボンチパウダーの取組について

問 ボンチパウダーの認知状況の評価と「ボンチ」より知名度のある「富良野」の名称を世界へ発信した方が、より効果的と考えるが、ボンチパウダー推進事業の今後の方向性について伺う。

答 ボンチパウダー推進事業では、パウダースノー実証事業が「第14

回気象文化大賞」を受賞したことや、昨シーズンのプロモーション動画再生回数が16万回を記録した。一方でSNSの伸び悩みが課題と認識している。今後は、情報発信手法の磨き上げを検討しながら、キャンペーン事業や各種イベントでのPRにより、フォロワー数等の拡大に努める。

〈その他の質問〉
・地価上昇に対する固定資産税の上昇について
・アニメコンテンツ活用誘客促進事業の検証について



安全で安心が求められる水道水

えん罪被害者を速やかに救済するために再審法改正を求める意見書

えん罪被害者の人権救済は、地域住民の人権を護る重要な課題といえる。

えん罪被害者を救済するための制度としての「再審」には、再審請求手続の審理のあり方に関する規定がほとんどなく、裁判所の広範な裁量に委ねられている。再審請求手続の審理の適正さが制度的に担保されず、公平性も損なわれている。えん罪被害者を救済するためには、捜査機関の手元にある証拠を利用できるよう、これを開示させる仕組みが必要であるが、現行法にはそのことを定めた明文の規定が存在せず、再審請求手続において証拠開示がなされる制度的保障はない。

現状、再審開始決定は、裁判をやり直すことを決定するにとどまり、有罪・無罪の判断は再審公判において行うことが予定されており、そこでは検察官にも有罪立証をする機会が与えられている。

えん罪被害者を一刻も早く救済するために、再審法を速やかに改正するよう求める。

地方財政の充実・強化を求める意見書

地方公共団体の現状は、急激な少子・高齢化にともなう社会保障制度の整備、子育て施策、人口減少下における地域活性化対策はもとより、DXの推進、脱炭素化、物価高騰対策など、極めて多岐にわたり新たな役割が求められている。加えて、多発化する大規模災害への対応や新興感染症への備えも求められる中、地域公共サービスを担う人材は圧倒的に不足している。

政府はこれまで「骨太方針」に基づき、地方一般財源の前年度水準を確保する姿勢を示してきたが、増大する行政需要、また不足する人員体制の改善を図っていくためには、今後はより積極的な財源確保が求められる。

このため、2026年度政府予算、また地方財政の検討にあたっては、現行の地方一般財源水準の確保から積極的に踏み出し、日本全体として求められている賃上げ基調に対応する人件費の確保まで含めた地方財政の実現を求める。

地方消費者行政に対する恒久的な財源確保を求める意見書

消費者被害を防ぐためには、相談体制の確保や消費者教育や啓発など、地方消費者行政の充実・強化が図られなければならないが、地方消費者行政推進交付金は、令和7年度末には多くの地方公共団体に活用期間が終わるため、相談体制の維持や啓発・消費者教育に係る事業の継続が困難となり、地方消費者行政の後退・縮小が懸念され、被害の防止・救済の根幹である消費生活相談においては、相談員の高齢化等による担い手不足が深刻な問題となっている。相談員の担い手を確保し、安定的に業務を継続できるよう雇用形態や処遇等の改善が求められており、速やかな制度設計と予算措置を行うことが必要である。

さらに消費生活相談のデジタル化に向け、全国消費生活情報ネットワークシステムに代わる新たなシステムの整備を予定しているが、継続的な更新費用などは、地方公共団体の負担とされており、これらの経常的費用も国の責任で措置するよう要望する。

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

北海道の森林は全国の森林面積のおよそ4分の1を占め、地球温暖化防止や国土の保全、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待され、発揮させるため、森林資源の循環利用を進める必要がある。

全国一の森林資源を有する北海道は、カーボンニュートラルの実現に向け、植林による森林の若返りや木材利用の促進、木質バイオマスの利用促進など、森林吸収源対策を推進する責務を担っている。

森林資源の循環利用に向け、森林整備事業や治山事業などを活用し、植林・間伐や路網の整備、優良種苗の安定供給、山地災害の防止、木造建築物の整備、森林づくりを担う人材の育成など、様々な取組を進めてきたところである。

北海道の森林を将来の世代に引き継ぎ、循環型社会を形成するため、活力ある森林づくりや道産木材の利用、防災・減災対策を一層進め、ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を要望する。

可決された意見書（抜粋）

第2回定例会において議員提案された意見書は4件です。意見書は可決後、直ちに関係機関へ送付しました。

議場見学&模擬一般質問

富良野市立麓郷小学校

特集



質問者 後藤 司(ごとう つかさ)さん
三師 湧嵩(みつもと ゆたか)さん
答弁者 今議員、後藤議員、大西議員

5月22日、麓郷小学校6年生のお2人が議場見学と併せ一般質問を行いました。学校の社会の政治の勉強では、「日本国憲法の三原則」「三権分立」「税金」について学んでおり、その事を基に、普段議員が座っている席から質問に臨みました。



後藤 司さん

答 問

市議会には、富良野市のルールを決める条例の制定権があり、立法権のようなものと考えています。

市議会には、立法権はありませんか。

今皆さんが使われているタブレットや図書館などの公共施設の建設費や運営管理費、農業者に対しては、トラクターの自動操舵に対しても助成を行っています。

答 問

税金は、私たちの生活にどの様に使われていますか。

地方議会とは、国会とは全く違い、一元代表制をとっています。市長は予算、決算、条例の制定などの提案を行い、議員はそれに対して審議して結果を出していきます。

答 問

法律に基づいて、どの様に議会が進んでいたり、結果をどの様に実用化していますか。



三師 湧嵩さん

当日、配布の児童生徒向けの資料です。



ようこそ!富良野市議会へ

市議会の事がわかりやすく解説されています。是非ご覧下さい!

質問を終えた後の感想は!

- ・ビビりました、緊張しました
児童会は緩い感じで市議会は大人な世界
- ・しーんと、静かな感じでした

終始、緊張した面持ちでしたが、質問を終えた後のほっとした表情、「ビビりました」という正直な言葉が印象的でした。将来の議員になるかもしれない後藤さん、三師さんのお二人にエールを送ります。

Furano city council

特集

議会日誌 ～5月から7月までの議会関係の開催状況をお知らせします～

5月

12日・第2回臨時会告示
16日・議会運営委員会
19日・第2回臨時会
・議員協議会
・総務文教委員会
・市民福祉委員会
・経済建設委員会
・議会広報特別委員会
20日・全国市議会議長会
第101回定期総会

6月

3日・第2回定例会告示
5日・議会運営委員会
・代表者会議
6日・広域連合議会第1回臨時会告示

10日・第2回定例会（第1日）
・議員協議会
・議会広報特別委員会
・総務文教委員会
・市民福祉委員会
13日・広域連合議会第1回臨時会
17日・第2回定例会（第2日）
18日・第2回定例会（第3日）
・議会運営委員会
20日・第2回定例会（第4日）
・代表者会議
・経済建設委員会
30日・市民福祉委員会

7月

1日・総務文教委員会
2日・富良野沿線市町村議会議長会
総会

3日・議会広報特別委員会
7日・全国市議会議長会基地協議会
理事会
8日・経済建設委員会
10日・全国市議会議長会基地協議会
北海道部会役員会
15日・総務文教委員会
16日・議会広報特別委員会
17日・市民福祉委員会（市内現地視
察）
22日・市民福祉委員会
・経済建設委員会（市内現地視
察）
30日・総務文教委員会



全国市議会議長会から表彰されました

令和7年5月20日に東京都で開かれた全国市議会議長会第101回定期総会において、本市議会より、佐藤秀靖議員が、市議会議員として10年間市政の振興に努められた功績に対し表彰され、6月10日の第2回定例会冒頭に、議長からの表彰状の伝達を受けました。



表彰状伝達後の佐藤議員

次回定例会（令和7年9月）のご案内

次回定例会の開催予定です。開会は通常10時となっています。

日	月	火	水	木	金	土
31	9/1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	10/1	2	3	4

議会日程は変更になる場合があります。

お聞かせください
あなたの声



「フラノギカイ」に対する「ご意見」を
伺います！

広報紙に対するご意見、ご感想をお寄せくだ
さい。

富良野市議会「議会広報特別委員会」では、
より良い富良野市議会だより「フラノギカイ」
にするため、広報紙に対するご意見、ご感想
を御寄せいただけるよう、Google フォー
ムで読者のお声を伺います。

記事の内容、文章や用語・用字、レイアウト
など、紙面に関するものであればどんなこ
とでもよろしいので、ご意見をお待ちしてい
ます。

常任委員会・特別委員会の構成が決まりました

市民福祉委員会



今 利一 坂口 邦夫 大栗 民江
◎佐藤 秀靖 ○天日 公子

総務文教委員会



後藤英知夫 橋詰亜咲美 二宮 利和
○家入 茂 ◎大西三奈子

議会運営委員会



佐藤 秀靖 松下寿美枝 石上 孝雄
◎大西三奈子 ◎後藤英知夫 天日 公子

経済建設委員会



宮田 均 関野 常勝 本間 敏行
◎石上 孝雄 ○松下寿美枝

議会広報特別委員会



坂口 邦夫 橋詰亜咲美 二宮 利和 大西三奈子
○家入 茂 ◎松下寿美枝 佐藤 秀靖

第2回臨時会において、常任委員会・議会運営委員会委員の選任と議会広報特別委員会の設置をする動議の提出により、委員会の設置と委員の選任が行われました。選任後、直ちに委員会を開催し、正副委員長互選が行われています。

氏名の前に◎が委員長、○が副委員長となります。
各委員会の任期は、5月19日から議員任期満了の令和9年4月30日までの約2年間となります。
なお、議長については、議長の職務に専念するため、選任後に委員の辞任を申し出し、議会の許可を受けています。

編集後記

▼任期4年の後半に入り、議会広報特別委員会も新たなメンバーでスタートしました。
▼前期では、市民の皆さまからアンケートを通じて貴重なご意見をいただきました。「より読みやすい紙面づくり」を目指して、今後も広報紙づくりに取り組んでいくことを委員会内で確認しました。

▼後期では、それらの声を活かし、より読みやすく、議会を身近に感じていただける広報紙づくりに取り組んでまいります。

▼議会の情報をお届けする大切なツールとして、委員一同、力を尽くしてまいりますので、ぜひ引き続き「ご意見ください」のコーナーなどで、皆さまの声をお寄せください。

(委員長 松下 寿美枝)



発行責任者

議長 渋谷 正文

議会広報特別委員会

委員長	松下寿美枝
副委員長	家入 茂
委員	橋詰亜咲美
〃	坂口 邦夫
〃	佐藤 秀靖
〃	大西三奈子
〃	二宮 利和

